

(平成 26 年 11 月試験研究業務月報)

マツタケの人工栽培に向けた、その前段階となる安定したシロ形成技術の開発

研 究

## マツタケ菌のマツ根接種試験の調査

森林技術センターではマツタケを人工的に増やす研究に取り組んでおり、その一環として、府内各地のマツ林で、普及員や生産者の皆さんと共同でマツタケ菌をマツの根に接種して感染させる試験を行っています。

今年 4 月にマツタケ菌を接種した福知山市の三俣生産森林組合のマツ林において、11 月 12 日に組合員さんと一緒に調査を行いました。この結果、接種した 11 箇所中、マツタケ菌がマツの根に感染している可能性がある箇所を 4 箇所確認しました。さらに来年の 2～3 月にマツタケ菌の増加を確認し、本方式がマツタケ増殖に有効かどうかの判断を行います。



マツタケ菌接種状況  
(筒状の袋の中にマツタケ菌が入っており、これにマツの根を差し込んでいる。)



袋を開き調査  
(白い部分がマツタケ菌)